

水でくらしを支える

三重県企業庁



三重県企業庁
マスコットキャラクター
『みずたまくん』



三重県企業庁

水道用水供給事業と水道事業

皆様のご家庭には、お住まいの市町が営業している水道事業から水道水をお届けしていますが、独自に確保している水源だけではお届けする水道水が不足する市町もあります。

三重県企業庁では、このような市町に不足する水道水を水道用水供給事業としてお届けしています。



三重県企業庁の水道用水供給事業は、昭和 40 年代前半からの県内産業の発展、都市化の進行などにより水需要が増加する中で、個々の市町では水源開発が困難であったことなどから、県で広域的に水を供給するよう要請を受け、県がダムや水源の確保、浄水場の建設等を受け持ち、要請のあった市町へ水道水を供給するシステム（水の卸売り）として始まりました。

三重県企業庁は市町とともにご家庭に 安全で安心な水道水をお届けしています



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

県営水道の概要

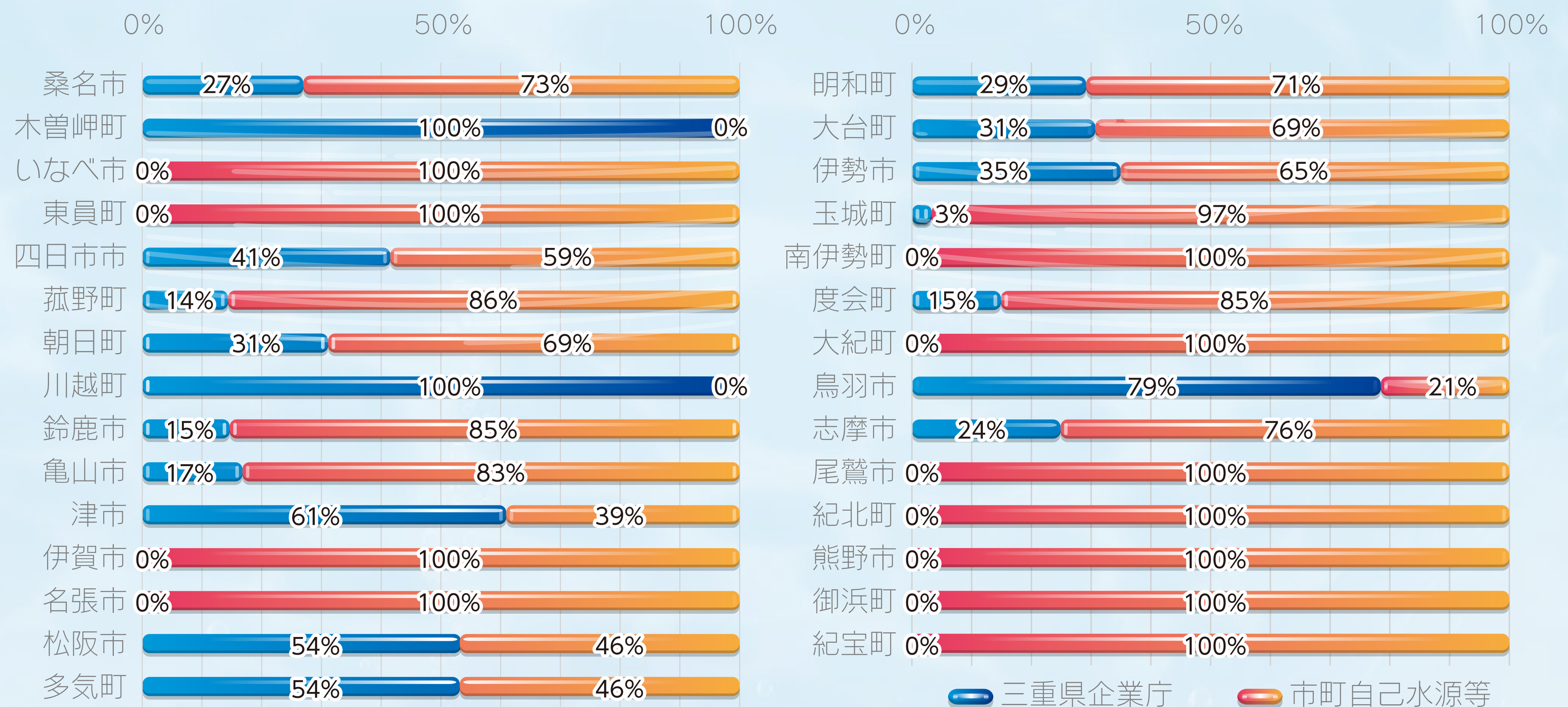
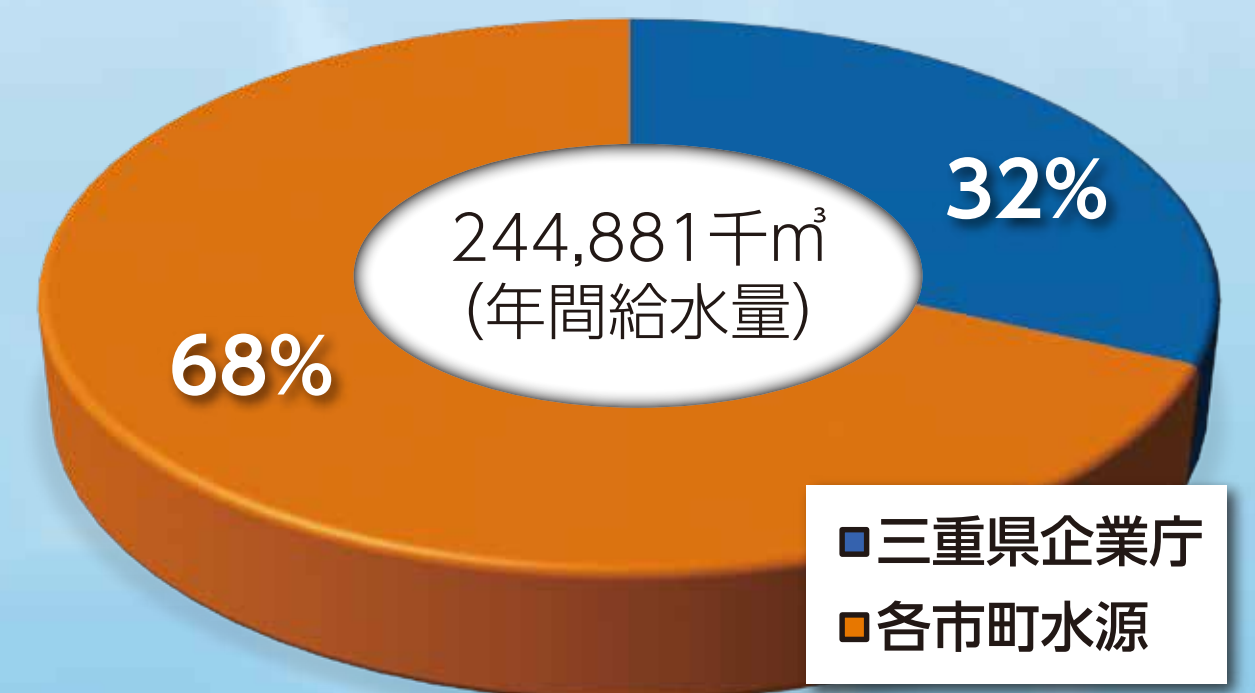
昭和 43 年に志摩地方で給水を開始して以来、現在では 5 つの浄水場と総延長約 430km の管により、県内 29 市町のうち 18 市町へ水道用水を供給しています。

三重県企業庁の水が占める割合

三重県内の水道水の約 32%を占めています。

各市町における三重県企業庁からの水と自己水源からの水の割合は下のグラフのとおりです。

県内水道の給水量に
三重県企業庁の水が占める割合
(令和 5 年度実績)



営業実績

1年間で約 7,448 万 m^3 、1日あたりに換算すると平均して約 20万 m^3 （学校の 25mプール約 330 杯分）の水道用水を供給しています。

令和6年度の年間供給量は、前年度と比べわずかに減少しましたが、横ばい傾向にあります。



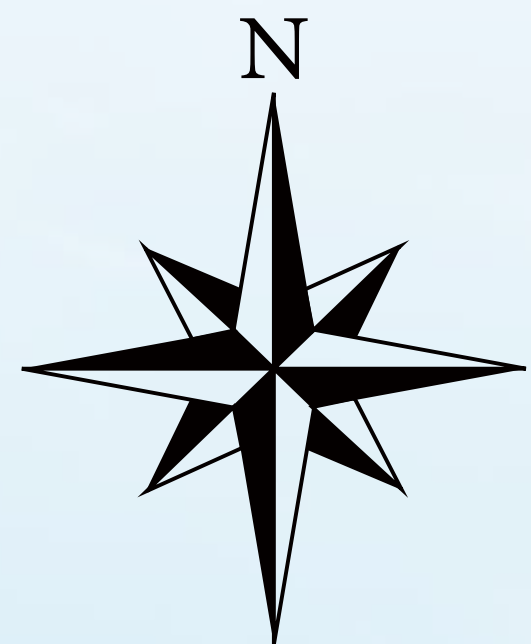
◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

県営水道の浄水場

県営水道には、5箇所浄水場があります。

浄水場給水能力

429,366 m³ / 日 (学校の 25mプール約 720 杯分)



播磨浄水場 (桑名市)



給水能力：98,300 m³ / 日

水沢浄水場 (四日市市)



給水能力：51,000 m³ / 日

大里浄水場 (津市)



給水能力：58,800 m³ / 日

高野浄水場 (津市)



給水能力：81,416 m³ / 日

多気浄水場 (多気町)



給水能力：139,850 m³ / 日



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

県営水道の水源

三重県ではこれまで、都市化の進展、生活の高度化や多様化に伴う水需要の増加に対応するため、ダム開発計画に参画し水源を確保してきました。

中里ダム



ダムデータ

所在地	三重県いなべ市藤原町
河川名	員弁川水系大平川・砂子谷川
型式	ゾーン型アースダム
堤高	46m
堤頂長	985m
総貯水容量	1,640 万 ³ m
管理者	水資源機構
本体着工年	1972 年
完成年	1977 年

長良川河口堰



ダムデータ

所在地	三重県桑名市
河川名	木曽川水系長良川
型式	可動堰
総延長	661m
管理者	水資源機構
本体着工年	1988 年
完成年	1995 年

岩屋ダム



ダムデータ

所在地	岐阜県下呂市金山町
河川名	木曽川水系馬瀬川
型式	ロックフィルダム
堤高	127.5m
堤頂長	366m
総貯水容量	1 億 7,350 万 ³ m
管理者	水資源機構
本体着工年	1969 年
完成年	1976 年

君ヶ野ダム



ダムデータ

所在地	三重県津市美杉町
河川名	雲出川水系八手俣川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	73m
堤頂長	323m
総貯水容量	2,330 万 ³ m
管理者	三重県
本体着工年	1968 年
完成年	1972 年

蓮ダム



ダムデータ

所在地	三重県松阪市飯高町
河川名	檜田川水系蓮川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	78m
堤頂長	280m
総貯水容量	3,260 万 ³ m
管理者	国土交通省
本体着工年	1981 年
完成年	1991 年



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

浄水場のしくみ

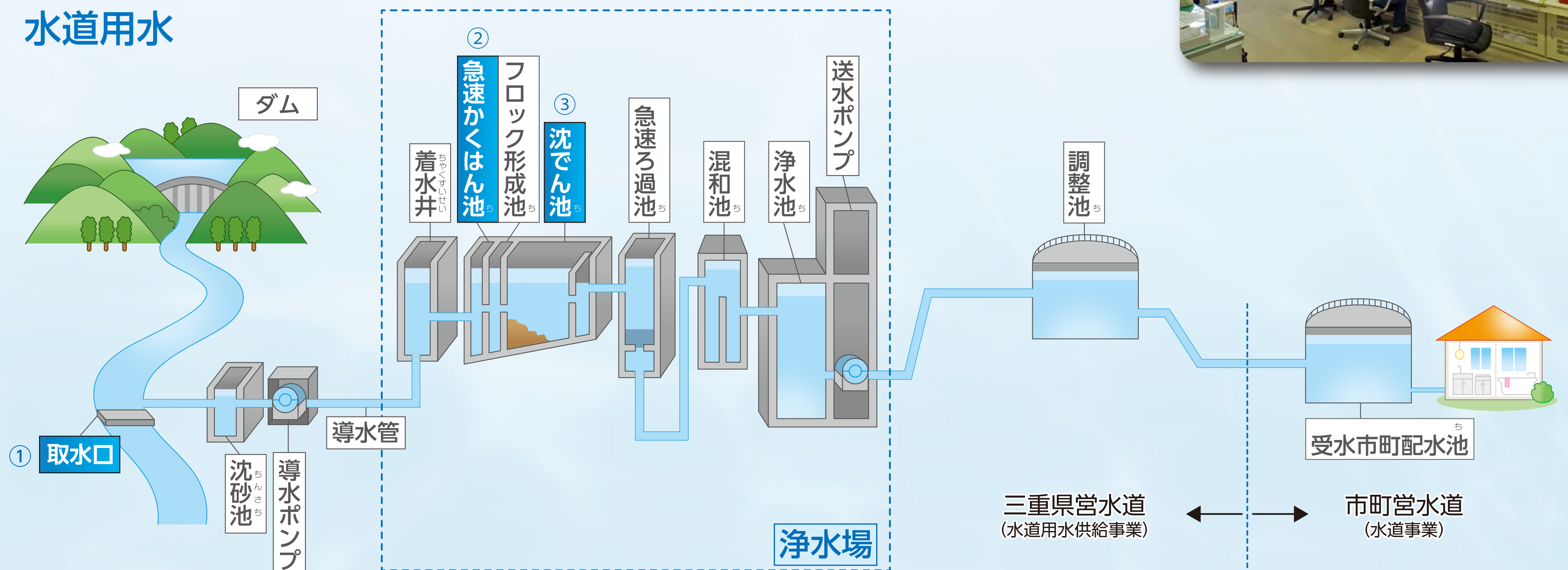
浄水処理フロー

いつでも水道水を安定してお届けするため、浄水場では 365 日 24 時間体制で運転管理しています。

運転管理



水道用水



ダムや河川に設けられた「取水口」から取水した水(原水)は、「沈砂池」で土砂などを取り除いた後、浄水場の「着水井」へ送ります。

浄水場に着水した水の微粒子を取り除くため、「急速かくはん池」において「ポリ塩化アルミニウム(PAC)」などの薬品を注入し、「フロック形成池」において微粒子などの固まりであるフロックを形成させ、「沈でん池」と「急速ろ過池」でフロックを沈降ろ過させることで取り除きます。
最後に、大腸菌などの消毒を行うため、「混和池」において「次亜塩素酸ナトリウム」を注入し、きれいになった水を「浄水池」に貯めます。

「浄水池」から各市町の配水池(受水タンク)へ送られた後、各市町により一般家庭へ水道水としてお届けされています。

① 取水口



② 急速かくはん池



③ 沈でん池



水質管理

安全で安心な水道水をお届けするため、浄水処理工程における水の色・濁り、消毒の残留効果などを検査で毎日確認するとともに、水源から浄水(送水)に至る水の水質及び有害物質が含まれていないかなどを毎月検査しています。

水質検査



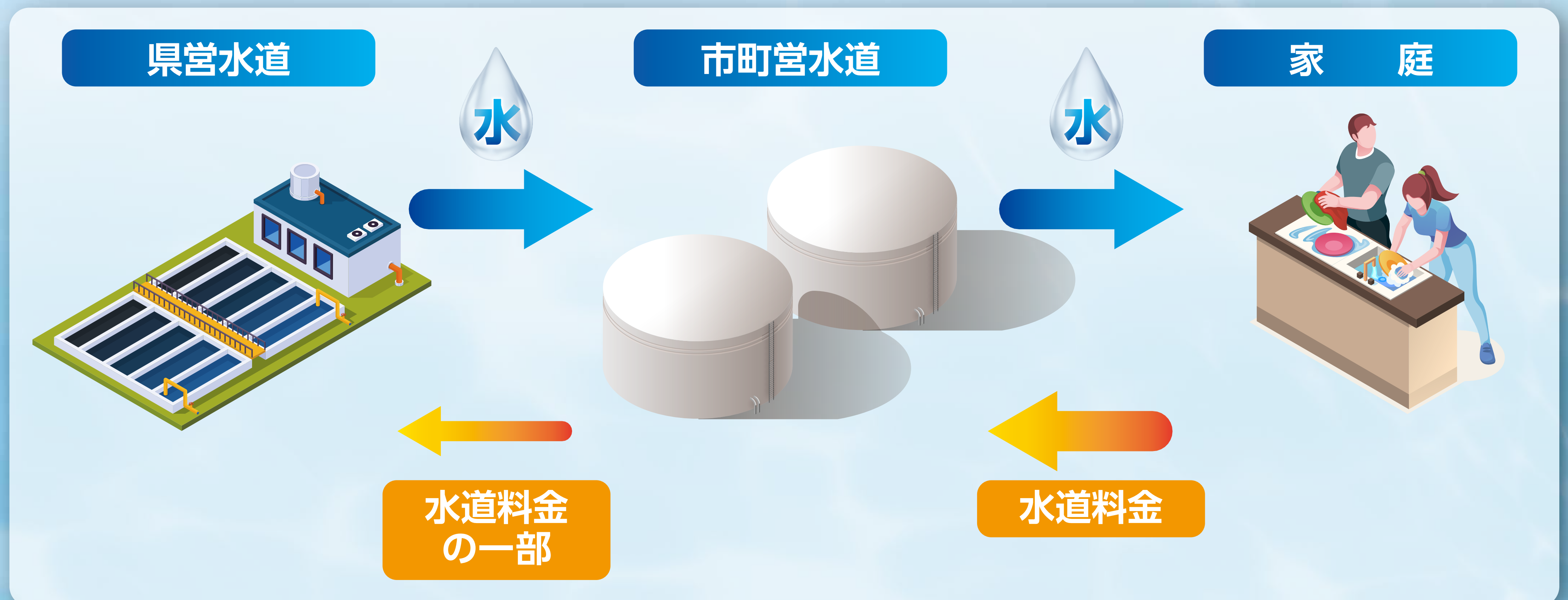
◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

県営水道の経営（料金について）

事業経営のしくみ

三重県企業庁は市町とともに、ご家庭に水道水をお届けしています。

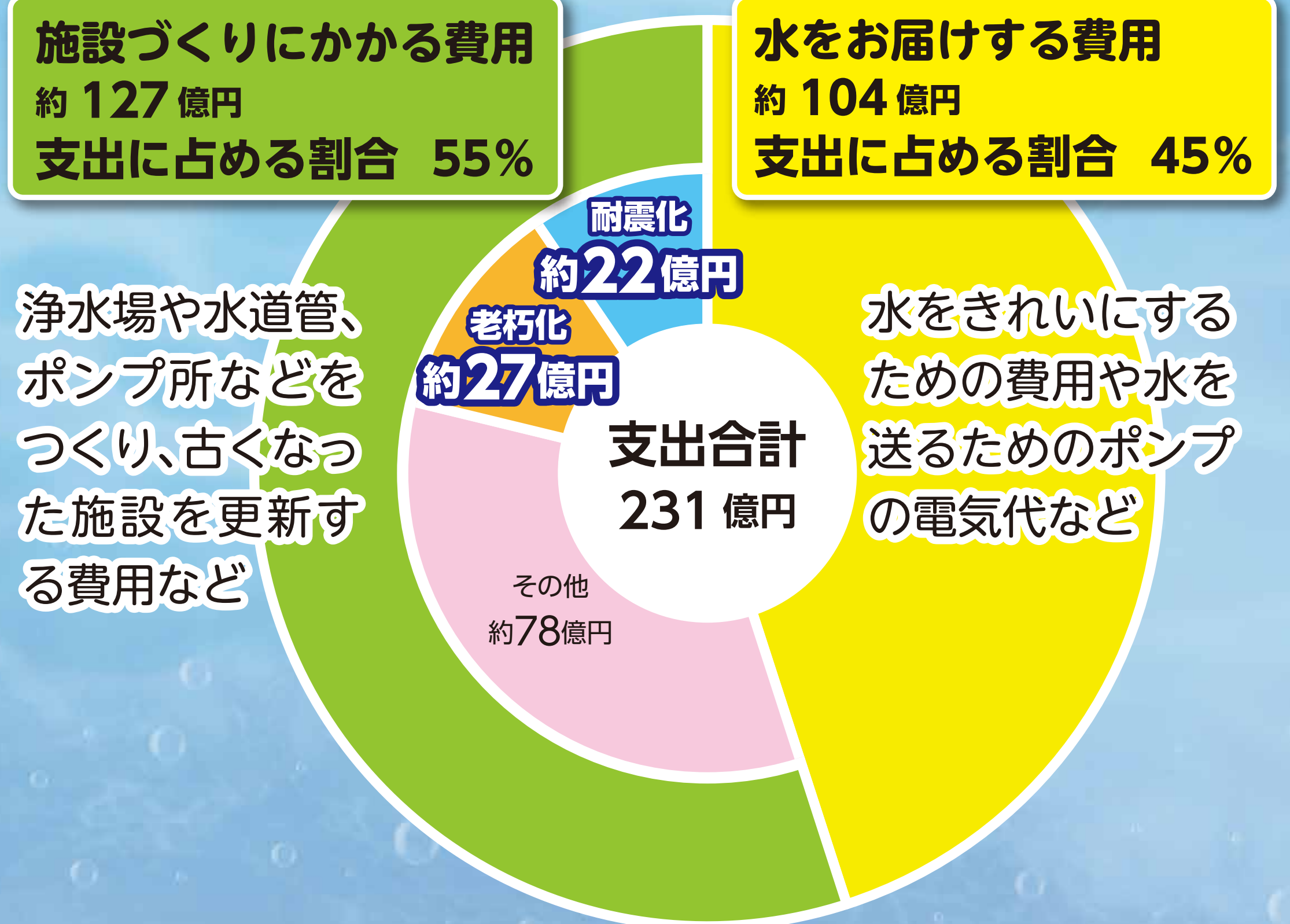
皆さんからいただいた水道料金の一部は、市町営水道を通じて、県営水道の施設づくりや、水をお届けするための費用に使われています。



県営水道料金

安全で安心な飲み水を安定して供給するには、多くのお金がかかります。

浄水場や水道管の耐震化や、古くなった施設を更新する費用など施設づくりにかかる費用が約 55%、水をきれいにするための費用や、水を送るのに必要なポンプの電気代などの水をお届けする費用が約 45% を占めています。



県営水道事業予算（令和 7 年度）

事業運営

皆さんのご家庭と同様に、県営水道・市町営水道も電気代等の物価高騰の影響を大きく受けています。例えば、県営水道では電気代が 1 キロワットアワーあたり 1 円上がると年間約 4 千万円の費用が増加します。



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

持続可能な安定供給に向けた取組

令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に伴う道路陥没事故をはじめ、全国的にインフラ施設の老朽化、劣化に伴う大規模な事故が発生しており、水道施設においても維持管理や老朽化対策の重要性が再確認されています。

三重県企業庁では適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図るとともに、耐用年数、劣化状況等を総合的に判断して効率的かつ計画的な更新を進めています。

維持管理・施設改良



分解点検中のポンプ設備



塗装塗替中の水管橋



更新した浄水場の緩速攪拌機



電気設備の点検

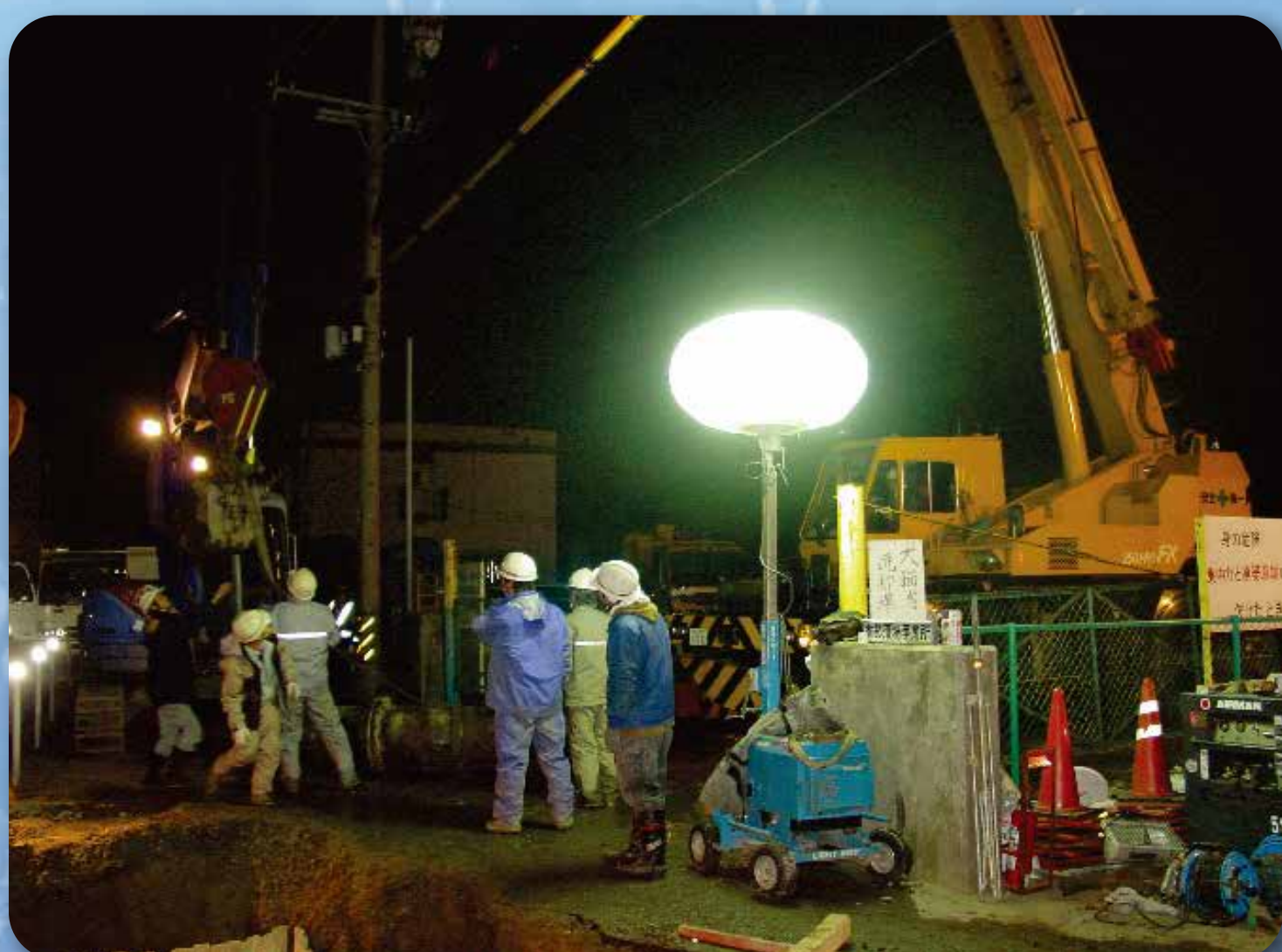


更新した中央監視制御設備



配水管布設替工事の施工状況

漏水復旧



夜間の漏水復旧作業

道路等に埋設されている水道管は、土壌特性による腐食や地中の迷走電流による電食等により損傷し、漏水することがあります。

漏水は断水ばかりでなく、家屋浸水や交通障害などの二次災害を引き起こす原因にもなり、すぐに対応しないと皆さんの暮らしに支障をきたしかねません。

このため、市町への影響（給水障害の防止）も考慮しながら、できる限り迅速で的確な復旧作業を行います。



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

災害等に備えて

南海トラフ地震や近年頻発する自然災害の状況を踏まえ、想定される危機への事前対策として、他自治体との応援協定の締結、施設の耐震化や風水害対策、応急復旧用資機材の確保等に取り組むとともに、危機発生時に迅速かつ的確に対応できるよう市町や民間事業者などと連携した訓練など、危機管理マニュアル等に基づく実践的な研修・訓練を行っています。

施設の耐震化

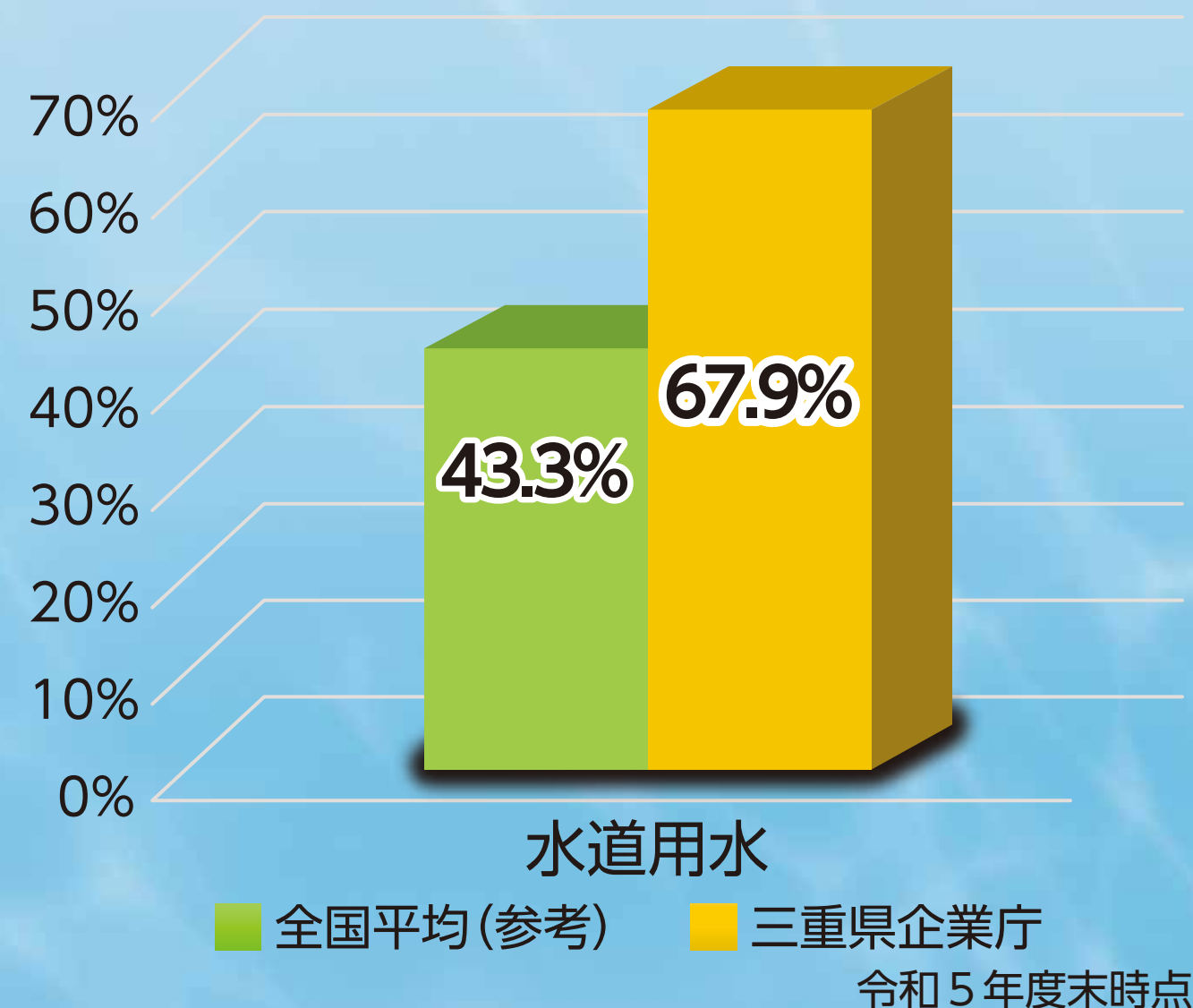


調整池の耐震補強



耐震管への布設替え

管路の耐震適合率



危機管理訓練



大規模災害への対応訓練



給水車への給水訓練



事務所の浸水対策

災害時における活動

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、給水車と職員を派遣して、生活に必要な飲料水の応急給水活動を実施しました。



応急給水活動(七尾市)



応急給水活動(能登町)



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

ドローンを用いた点検

三重県企業庁では通常の点検では確認しにくい箇所でドローンを使用して点検しています。



遠隔操作で精密な画像撮影



高い視点から広範囲を一度に確認



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

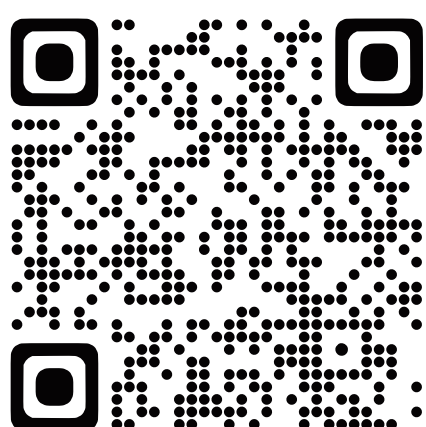
今日も水を、未来へつなぐ。三重県企業庁

企業庁といったら、水。 三重県企業庁は水で暮らしを支えています。

企業庁では、水道用水、工業用水の安全・安心・安定供給のために、さまざまな職種の職員が、それぞれの専門知識を活かして業務に取り組んでいます。



YouTube /  【公式】三重県企業庁



三重県企業庁で活躍する電気職員のPR動画を掲載しています。

実際に働いてみたらどんな一日を過ごすんだろう…と思ったあなたは「三重県企業庁で、はたらく。ー電気職ー」をチェックしてみてくださいね。

Instagram /  【公式】三重県企業庁



MIE_KIGYOCHO

水で暮らしを支える三重県企業庁の魅力や、職場の雰囲気などをお伝えしています。他にもお知らせや見学会開催の様子なども発信していますので、一度覗いてみてくださいね。



◀ こちらの Web ページで、
三重県企業庁の組織や取組などの詳しい情報を紹介しています。

 三重県

三重県企業庁